

クラス番号	211	ゼミタイプ	サービスラーニング型
		担当教員名	角崎洋平
テーマ	構想した政策を地域との協働で実現してみよう！		

ゼミナール概要

■ 目的

政策形成実践特講 I で提案した政策案の実現に向けて努力することで、政策実現のために NPO などの地域の団体と協働していくことがいかに重要かを理解する。同時に地域の団体と協働していくために必要な力（政策構想力、リーダーシップ、コミュニケーション能力）を身につける。

■ 内容

行政専修の 1 年生の多くが履修する「政策形成実践特講 I」では、知多市や東海市から地域課題が提示され、みなさんはその課題を解決すべく政策（企画）案を作成しています。12 月には最終報告会があり、各市の公務員から直接コメントをもらいます。

そのコメント、次のチャレンジに活かしましょう！

せっかくだから、その政策案、ブラッシュアップしたうえで実現してみましよう！

とはいえ、おそらくみなさんの考えた政策は、みなさんだけの力では実現することは難しい面が多いでしょう。そこでこのゼミでは「サービスラーニング」という枠組みを使って、地域の NPO などの団体の力を借ります。サービスラーニングとは、地域貢献活動（サービス）を通じた学び（ラーニング）です。みなさんの「気づき」「思いつき」「解決策」を、地域との協働でかたちにしていきます。

■ 補足事項

1 年生のときに提案した政策案（企画）とは異なる政策案（企画）、たとえば他のグループが提案した政策案（企画）の実現に参画してもよいです。対象とする市を変えてもよいです。参加者のバランスによっては、政策実現のためのグループについて、人数調整をする可能性もあります。

■ 授業計画：

- 4 月：オリエンテーション、政策形成実践特講で学んだことの確認、提案した政策（企画）案の再確認
 - 5 月：提案した政策案を、各市の総合計画や行政計画のなかで位置づけ、提案内容をブラッシュアップ（政策（企画）案の抜本的な修正や新規提案もありえる）
 - 6 月～7 月 行政や地域の団体と協力して、政策の実現に向けて準備をする
 - 8 月～9 月 提案した政策（企画）を実現する（現場での実践。5 日程度）
 - 10 月 実施した政策（企画）内容の活動報告とリフレクション（協力先スタッフも交えた「ふりかえり」）
 - 11 月 実施した政策（企画）の自己評価（どのような効果があったか、改善点はないか、考える）
 - 12 月 最終報告会に向けた準備
- その後個人レポートの提出

担当教員からのメッセージ



地域と協働する力は、これからの**公務員**に必要な力です。いや、公務員でなくても**社会福祉協議会**の職員になろうとすれば常に求められる力です。こうした力は**地元企業**で就職する場合でも必要となります。SDGs や企業の社会的責任が求められるなか、地域の NPO や行政との連携が重要になるからです。政策形成実践特講 I でのみなさんのチャレンジを、2 年生での新たなチャレンジにつなげて、充実した 4 年間を過ごして希望の進路に進む基礎固めを、このゼミで行ってください。

このゼミの企画自体は今年がはじめてです。私にとってもこのゼミはチャレンジです。みなさんと一緒に、行政専修の新たな「目玉」になるようなゼミにしていきたいです。